

水道情報活用システム導入支援事業（東海市水道課）

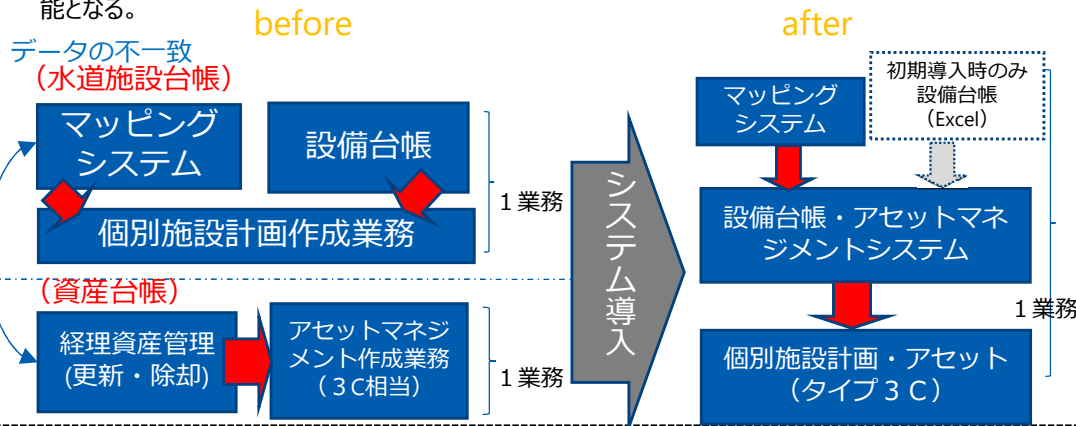
- 令和5年度より、既存のマッピングシステムの管路データを活用した設備台帳・アセットマネジメントシステムを導入する。
- 当該事業を通じて、アセットマネジメントが効率化されるほか、個別施設毎の長寿命化計画（個別施設計画）など**各種計画の一元化を図る。**

事業概要

- ・ 事業期間：令和5年度
- ・ 実施個所：東海市内全域
- ・ 事業概要：水道標準プラットフォーム及び水道施設台帳システムの導入を図るとともに、設備台帳システムとアセットマネジメントシステムの導入およびシステム間連携を行う。

導入により目指す業務効率化

- 設備台帳システム
 - ・ 現状の設備台帳ではExcelで台帳を管理しているが、メンテナンス費用等の詳細な管理が困難であり、個別施設計画などの計画書の作成・更新作業を年度毎に手作業で行うなど、膨大な作業量と時間を費やしている。
- ➡ 施設台帳システムを導入することで、計画書の精度向上および業務効率化を図ることが出来る。
- アセットマネジメントシステム
 - ・ 現状、個別施設計画、アセットマネジメントの計画書を別々のデータを基に作成しており、2つの計画の整合性が図れていない。また、現状のアセットマネジメントツールでは、個別の設備に対するメンテナンス費用を詳細に管理できないため、個別に設定、入力する必要がある。
- ➡ アセットマネジメントシステム導入により、設備ごとのメンテナンスサイクルを基にしたマイクロマネジメントの結果を、更新需要の見通しや、財政収支の見通しなどのアセットマネジメントの主たる項目に自動で反映させることが可能となる。また、データをシステムで一元管理することが可能となるため、それぞれの計画の整合性を図りつつ、財政収支見通しの算出などの過程において業務量の縮減を図ることが可能となる。

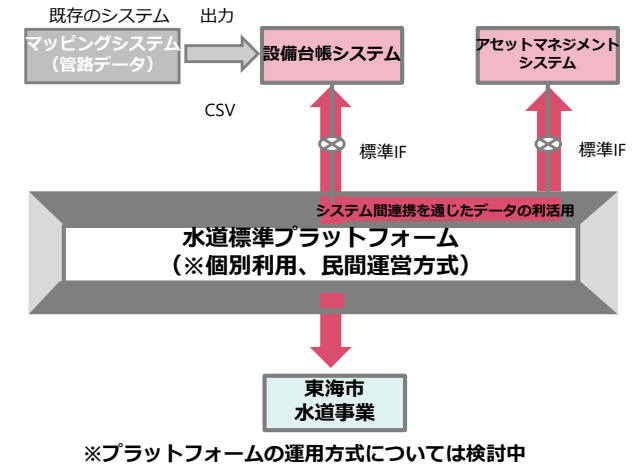


問合せ先

東海市水道部水道課
TEL: 052 - 603 - 2211 / Email: suidou@city.tokai.lg.jp

具体的な連携の内容

- ・ 設備台帳システムとアセットマネジメントシステムの連携により、個別の設備に係る費用（メンテナンスサイクル費用と新設・更新費用）を踏まえた将来費用を算出し、個別施設計画を作成。
- ・ アセットマネジメントシステムでは設備台帳システムで見込んだ費用と過年度の収入を基にアセットマネジメント（タイプ3C）を実践。一連の作業により個別施設計画を踏襲したアセットマネジメント計画を作成。



データの利活用・付加効果

- ・ 現在は、管路データはマッピングシステム、メンテナンス費用は個別施設計画（Excel）、将来の更新需要の算定はアセットマネジメント（簡易ツール）を用いて、各々計画・管理を行っているが、水道情報活用システムで一元管理、データ連携することにより、管路および設備更新計画やメンテナンスサイクルの変更に柔軟に対応した、いくつもの更新需要や財政収支の見通しなどのシミュレーションを持つことができ、アセットマネジメントシステムで得られる多くのシミュレーション結果により、個別施設計画（長寿命化計画）、経営戦略、水道ビジョンの整合性が図られるだけでなく、精度の向上につながる事ができる。
- ・ マッピングシステムから位置情報を含めた管路データを取り込むことで、導入システムにより算定する更新需要に基づく、管路の更新時期を地図情報システム（統合型GIS）に反映することができ、大規模災害時における他団体からの応援協力者と情報を共有することができる。

